



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03)3271-2181
URL:https://www.t-namakyo.jp/
発行責任者 高村 尚

＝協組の動き＝

(2020年1月)

6日(月) 新年賀詞交歓会
14日(火) 理事会(No. 1114)
27日(月) 理事会(No. 1115)

(2月)

10日(月) 理事会(No. 1116)
25日(火) 理事会(No. 1117)

経営者・共販セミナー

主催: 東京都生コンクリート工業組合

日時: 2月21日(金) 15時～

場所: 京王プラザホテル(新宿)



(今月の標語は裏面に)

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	12月(実績)	20年1月(想定)	12月(実績)	前年比
大型	157,533 m ³	120,000 m ³	482,859 m ³	195.2%
小型	31,020 m ³	30,000 m ³	408,859 m ³	201.7%
計	188,553 m ³	150,000 m ³	2,667,105 m ³	75.9%

令和2年新年賀詞交歓会 適正価格の獲得

当協組は恒例の新年賀詞交換会を1月6日(月)に都内のホテルにて開催し、450名を超える方々のご出席を頂きました。

最初に主催者を代表して齋藤理事長より挨拶がありました。



(齋藤理事長)

【令和という新しい時代】

昨年はなんと言っても令和という新しい時代を迎えたということです。中西進さんの万葉集の本を読みますと、令和とは素晴らしく穏やかな、という意味だそうで、どんな時代になるのか大いに素晴らしい時代になることを期待しております。

昨年の経済を振り返ってもあまりいい話がなかったと思います。最近も日中・日韓関係の悪化、またイランでの紛争等が起きており、今年の経済はどうなるのかと心配しておりますが、今年は何んといってもオリンピック、パラリンピックがありますので、この経済効果には大いに期待ができるのではないかと考えております。

【国が国土強靭化に本腰】

昨年のもう一度思い浮かべますとやはり皆さんはワールドカップということと言われると思いますが、私が一番先に思いつくのは、2年続けての重大災害のことです。「史上最大クラスの台風」という言葉が何回も使われましたし、現実に我々の関東地区がその被害を受けて、未だに生活に支障を来している方がいらっしゃるということで、改めてここでお見舞いを申し上げたいと思います。

国も、国土強靭化、防災・減災、これにいいよ力を入れて本気で公共工事やってくれるということです。本日の来賓で全生両連合会の吉野会長が生コン議員連盟に対して、国土強靭化・公共工事続けて下さいと長年に亘ってお願いをして、それが実を結んで生コン議員連盟の皆様にも動いて頂いているという状況です。

【今年度の出荷は弱含み】

東京協組の活動を振り返りますと、非常に残念ながら昨年からの出荷数量が前年度に比べ大幅に減少致しました。オリンピック需要が早く終了したとか、工事の端境期であるとか色々要因はあるのですが、当初この席に立つときは年間300万m³弱と言おうと考えておりましたが、12月の実績と1月の予定を見ますと、「弱」では言い表せず、「弱・弱」の280万m³で収まってくればいいかなと寂しい状況にあります。

【更なる価格是正のお願い】

2年前から進めてきた価格の改定につきましてはほぼ1,000円の獲得となりました。とはいうものの、この2年間で輸送費、原材料費、人件費が上昇し、値上げの効果が完全にコストアップに吸収されてしまいました。そうした状況ですので、大変恐縮ではございますが、この4月引合分から1,000円の価格改定を実施させて頂きたいと思っている次第です。



(左から
水野副理事長、
田中副理事長、
齋藤理事長、
西森副理事長、
松本副理事長)

【来年度出荷は下期に本格回復へ】

今後の出荷につきましては、今はこういう状況ではございますが、かなり新規の引き合いが増えております。しかも、超大型物件、既に皆様のお耳に入っているかとは思いますが、麻布台、勝どき、品川、それから池袋、新宿もありますし、まだまだ大型物件がございます。来年度上期の物件はやや厳しいかなと思っておりますが、ゼネコンからは既にGW中も、あるいはお盆中も操業してほしいというお話も頂いております。オリンピック・パラリンピック終了後の下期は間違いなく数量が出ると思えますし、ゼネコンから、車や石灰石、特殊セメントの用意も万全にしておくよう念押しされております。下期の出荷数量は2年前と同じように毎月30万m³位になり、私の予想では年間330万m³位かと思っております。

【喫緊の4つの課題】

こうした状況の中で、協組として取り組むべき4つの課題がございます。1点目は、適正価格をお願いしたい、ということです。ただし、今回は組合員各社の経営が非常に厳しい状況ですので、早期に1,000円の改定をお願いしたいと思っております。

2点目が安定供給の確保です。やはり適正価格を頂くからには、高品質の生コンの安定供給は欠かせません。下期の予想は先ほど申したとおりですので、組

合員、販売店、セメントメーカー、骨材会社、輸送会社と連携を強化していかなければならないと考えております。

3点目が、残コン・戻りコン、出荷キャンセルの削減です。依然として削減が進まない中で、処理費が大幅にアップしておりますので、取消料も4月から上げさせて頂くことに致しました。削減することはゼネコンにとっても、生コン会社にとっても、安定供給やコスト削減の面で非常に有意義ですので、引き続き削減をお願いして参ります。

4点目は、何と言ってもイメージアップの推進です。当協組では働き方改革、IT活用、女性活躍推進のワーキングチームを作っておりますが、この活動を中心にして少しでも、イメージアップ、人材確保に結び付けたいと思っております。

【取引先との信頼関係の強化】

これらの課題を進めるためにはユーザーであるゼネコンと相互理解を深めること、ゼネコンと我々の間を取り持つていただく販売店・商社との信頼関係を深めること、それと組合員が一致団結すること、この三つの基本姿勢で課題に向かって取り組んでいきたいと思っております。特に我々組合員と販売店の関係ですが、ラグビーというならスクラムを組んでゴールに向かってトライをしていきたいと思っておりますので、引き続きご協力ご支援をお願いしたいと思っております。

(裏面へ続く)

令和2年新年賀詞交歓会(続き)



(一ツ木副委員長)

【来賓代表ご挨拶】

次に、来賓を代表してセメント協会流通委員会副委員長一ツ木正様(宇部三菱セメント株式会社取締役常務執行役員)より以下のとおりの挨拶を頂きました。

先ほど斎藤理事長より、おひざ元の東京地区の生コン需要につきご説明がありました。オリンピック・パラリンピック向け需要の早期収束、昨年10月の消費増税実施、秋口以降の関東・甲信・東北南部の各エリアでの大型台風の被害、等から当地区の生コン出荷は非常に厳しい状況にあると聞き及んでおります。

本年は7月から8月にかけてオリンピック・パラリンピックが開催され、建設工事の進捗にいささかの懸念があり、当地区の生コン出荷についても影響を及ぼすと伺っております。

一方、リニア新幹線工事の本格化やオリンピック終了後には遅れていた大型再開発工事が一気に動き出すという期待も伺っております。

近年は以前想定されていなかった大規模自然災害が毎年のように発生しており、これに対して政府は大型経済対策を公表しております。災害の復旧・復興需要に加え、今後、全国的に防災・減災対策向けの消費が進捗していくことを期待するものです。首都機能が集中している当地区は一旦災害が起これば機能麻痺が懸念されることから、国土強靱化の中核エリアであると思っております。地域的に当地区の需要の回復に期待を寄せるところです。やはり東京地区に元気がないと我々業界も沈み込んだようになりますので、大いに期待するところであります。

また、今年には十二支の初めの年、庚子(かのえね)の年で、変革・変化の年と言われております。昨年の大型自然災害、働き方改革、慢性的な人手不足、海外ではイラン問題、米中貿易摩擦、中東地域の政情不安など色々な問題が当業界にも影響を及ぼすと思われまます。こうした様々な課題に対して皆様と力を合わせ取り組んで行きたいと思っております。

【来賓乾杯ご発声】

その後、東京生コンクリート卸協同組合理事長浅野様より以下のとおりの挨拶を頂きました。

斎藤理事長より、新しい年は出だしが少し心配とお話がありました。確かに出荷は低調ですが、実は契約残が増え



(浅野理事長)

ており、新しい大型案件が目白押しで控えております。我々登録販売店として、一番気になるのが需給環境の逆転であり、そしてその時期です。安定供給ということも課題の中に出て参ります。安定供給をしながら、需給がどこかで反転するときにも滞りなく供給を果たすことが大事であります。

もう一つ、オリンピックのある7月・8月に工事現場がどうなるかも色々取り沙汰されております。ミキサー車については90分という制約の中で、交通状況の変化に対応して、どのように納入していくか、これをとりまとめていくのが我々、流通としてのデリバリーという業務です。いままでに無かったようなデリバリーの質を求められる時が来るかもしれません。こうした未体験ゾーンに是非備えたいと思っております。

斎藤理事長が掲げられている4つの課題について我々も知恵を出し力を合わせ結果を出せるようにしたいと思います。

最後に“コンクリートで夢を形に!!”の当協組キャッチフレーズで乾杯のご発声を頂きました。

わが社の イメージアップ

関東宇部コンクリート 工業株式会社

当社は、首都圏の宇部興産(株)直系生コン会社が合併して設立され、現在東京、神奈川、埼玉、千葉の各都県に9工場を展開しています。それぞれの工場地域や住民の方との触れ合いを通じてイメージアップに取り組んでおり、そのいくつかをご紹介します。

豊洲工場は、操業開始当時は想像できなかったと思いますが、今や周囲を高層マンションに囲まれており、工場周辺で開催される夏祭りやイベントに参加したりして、地域との共生を目指しています。また、海外からの研修生を受け入れる等の活動も行っています。

溝の口工場(写真)、浦安工場などでは、小中学生の工場見学や職場体験を受け入れています。



溝の口工場を訪れた小学2年生の見学班は、生コンプラントやミキサー

車を間近に見ることができて、とても喜んだそうです。ミキサー車をデザインした「UBE コンクリートのみなさん、ありがとう」と書かれたお礼の絵が届き、案内を担当した工場の従業員も暖かい気持ちになりました。

子供たちが喜ぶと言えば、子供向けの「はたらくくるま300+」(講談社)という絵本図鑑に UBE コンクリートミキサー車の写真が採用され、大変評判がいいそうです。将来子供たちが生コン業界に興味を持ってくれるきっかけになるといいと思います。このほか入間工場では、工場事務所の前にメダカが泳ぐミニ池と花壇を設置して、社員が世話をしながら、お客様に癒しの場を提供するなど、イメージアップに努めています。



最近では、ミキサー車の運転手に女性ドライバーが増えるなど女性の活躍が進んでおり、これに合わせ、工場の女性用休憩室やトイレの整備を推進しています。まだまだ男性職場のイメージが強い業界ですが、できることから改善をしていきます。

以上地元密着した活動を中心にご紹介しましたが、当社および生コン業界のイメージアップにつながれば幸いです。

曲がり角、徐行運転、ヨイカ?、ヨシ! 東京トクヤマコンクリート(株)

「新成人として」

株式会社内山アドバンス
総務人事部
久保田 響

大きな病気や事故もなく無事20歳を迎えることが出来ました。そして、大人の仲間入りを果たしました。ここまで、元気に育てていただいたのは、沢山の周りの方々のおかげだと、改めて感じています。

特に私の大好きな父には感謝がありません。仕事において、非常に落ち込んで泣いている時も、忙しい合間を縫って話を聞いてくれたり、励ましてくれたり、父が私の父親でとても幸せです。まだまだ足りない部分が多い未熟な娘ですが、父に自慢の娘だ!とってもらえるために、また私の憧れである父のように日々努力を怠らず精進し、会社からも自慢の社員と言われるよう頑張ります。

新成人おめでとう

